

来週の『売り物』記事はこれ



2015年9月4日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

目指せ東京パラリンピック 義肢装具士、臼井二美男の夢 6日(日)



国内のスポーツ用義足製作の第一人者、臼井二美男さん(60)＝写真左。2020東京パラリンピックの出場を目指し、今は交通事故で両足が義足となった女性(28)の育成に励んでいます。「風を切って走るのは久しぶり」。絶望のどん底に突き落とされ、うつむいてばかりいた女性は「走る」という動作を思い出すことで、少しずつ明るさも取り戻しました。「達成していないことを目指すことに価値がある。実現できたら自信を持って、たくましく生きていける」と話す臼井さん。寄り添い続けるのはパラリンピックに出場するトップアスリートだけではありません。堂々と自信を持って生き抜けるようになった義足の患者たちと、「血が通うような義足が理想」という臼井さんの思いを描きます。



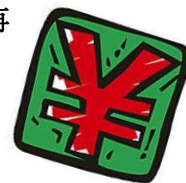
日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

どうなる世界連鎖株安、アベノミクスへの影響は？

第一線で活躍するエコノミスト2氏に聞く

夕刊2面特集ワイド 8日(火)

中国・上海市場の株価暴落を引き金に始まった世界的な連鎖株安は、一度持ち直したものの再び急落に見舞われるなど、不安定な状態が続いています。2008年のリーマン・ショック後、世界経済の回復をけん引してきた中国の景気悪化が背景にあり、まだ出口は見えません。今後の見通しやアベノミクスへの影響などについて、みずほ証券チーフマーケットエコノミストの上野泰也さんと、第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生さんに語り合ってもらいました。



「Tokiko's Kiss」

おんなのしんぶん 

6日(月)



月1回掲載の加藤登紀子さんの対談コーナー。今回のゲストは、気鋭の憲法学者、木村草太さん(35)です。安倍政権が採決に踏み切ろうとしている「安全保障関連法案」に対して、違憲の立場をとる木村さん。その理由を明快に解説。加藤さんが投げかける疑問にも丁寧に答えています。また、中学生の時に憲法の条文を読んで「解放感が得られた」というエピソードにも注目です。ニュースサイトに掲載する写真特集や動画もお楽しみに！

華やかグラススイーツ

くらしナビ面8日(火)

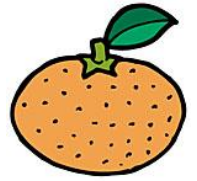
家庭にあるグラスに、生クリームやゼリー、果物、スポンジなどを重ねるだけで、見た目も華やかなスイーツが楽しめます。形が崩れることもなく、横から見た時、カラフルな層になっていておしゃれです。今回は基本となる「クリームチーズムース」を使い、アレンジした3種類を紹介します。パリやニューヨークでも大人気のグラススイーツを試してみませんか。



「機能性表示食品」制度、半年たって

くらしナビ面 9日（水）から 2回

どのように体によいかを事業者の責任で表示できる「機能性表示食品」制度は、4月にスタートして間もなく半年となります。既にサプリメント（栄養補助食品）を中心に70種類を数え、事業者側の活用は活発です。今後は、温州ミカンなどの生鮮品の申請も出てきそうです。一方、さらなる安全の確保を義務づけるべきだとの指摘もあります。制度の現状と課題を探ります。



薄毛に悩む女性のために

くらしナビ面 11日（金）



ホルモンバランスの乱れなどから、薄毛に悩む女性が増えているそうです。特に更年期を迎える50歳前後は女性ホルモンが急減し、髪の毛の質、量ともに大きく変化します。仕事や家庭でストレスが重なりやすい時期でもあります。髪を健康に保つには「バランスの良い食事、運動、睡眠が大切」など、生活上の注意点や治療法、育毛剤やウィッグの使い方を専門家に聞きました。

疎開先の食糧難時代

朝刊文化面 12日（土）

歌舞伎俳優の松本幸四郎さん（73）は疎開先で口にした食糧難時代のカエルの味を覚えています。主演を演じたドラマではロケ先のフィリピンで高齢女性に鋭い目でにらみつけられ、「日本軍と重ね合わせたのでは」と実感したそうです。ミュージカルの代表作「ラ・マンチャの男」を公演中の幸四郎さんが、舞台や映像を通して考えた戦争を語ります。



毎小学生新聞

小学生新聞 来週の
“売り物”、記事はこれ！



食欲の秋。毎小では食を楽しく科学する連載を用意しています。7日（月）からはこども農業雑誌「のらのら」とのコラボレーション企画「おひさまオープンで干し野菜！」を3回連載します。10日（木）は陰山英男先生のコラムのほか、国内の原発問題をわかりやすく図解します。12日（土）は人気の編集長コラムです。どうぞお見逃しなく。